

【緊急報告】 妊娠・出産と新型コロナウイルス感染症

2020年12月に入り、高知県でも新型コロナウイルス感染症患者さんが急増しています。12月24日時点では人口あたりの感染者数は、全国第6位です。全国の総合周産期母子医療センターのメーリングリストでは、複数の妊婦さんの重症化の情報共有がなされています。

高知県でも、濃厚接触者となって検査したり、感染し入院した妊婦さんが複数います。高齢者、持病をお持ちの方への感染は重症化するいう多くの情報がありますが、妊婦さんへの感染も、決して楽観できないので、情報をお伝えします。

- 妊婦だからといって感染しやすいということはない
- 症状のない妊婦さんに対してのPCR検査陽性率は、**0.03%**である（日本産婦人科医会調査）
- 感染が確認された妊婦の感染経路は、**家庭内57%**、市中11%、感染地域への渡航・滞在6%、職場4%と報告されている（日本産婦人科医会調査）
- 妊婦の感染症状も他の方々と同じ
- 感染と胎児の**先天異常や初期流産との関連はない**
- 妊婦の感染が特に重症化しやすいとか死亡に至りやすいという報告はない。しかし、呼吸管理やICU(集中治療室)入院が妊娠していない女性より多いとか、**妊娠後期（子宮が大きくなり、横隔膜が持ち上げられる時期）になると重症化する**という報告や高齡妊娠（35歳以上）、肥満、高血圧症、糖尿病合併妊娠は重症化のリスクとする報告がある
- 分娩方法は、①母体の呼吸状態が悪い、②陣痛がいつ起こるかわからない時期では、**帝王切開を選択**することもやむを得ない
- 母体の発熱や呼吸障害から発生する胎児の低酸素症、切迫早産、破水、胎児心音異常で帝王切開が選択され、**結果的に早産率が高まる**
- 帝王切開で出生した**新生児の感染はほぼ無い**
- 生後は、母体の感染力がないとされる時期までは**母子隔離**とする
- 感染者の授乳は、**完全な人工乳**が勧められる

ご提案

分娩方法や新生児管理（隔離や授乳）は、地域や病院によって異なる可能性がありますので、高知県以外の方はそれぞれの地域でご確認ください。

誰が感染してもおかしくない事態です。しかし、**感染のリスクを抑えることは可能**です。

妊婦さんは感染しないよう、**三密を避け、手洗い、換気やマスクの着用**を励行しましょう。

妊婦さんと**同居のご家族、夫は家庭内に感染症を持ち込まないよう行動を自制**しましょう。

妊娠期間は長くて10ヶ月です。1年に及ぶことは絶対ありません。

ですから、お父さん！ 今は我慢する時です。

忘年会、新年会、友人らとの会食などマスクをはずして

おしゃべりする機会を避けましょう！